

別記 に

皇教徒の欺瞞宣傳を駁

皇教徒は本邦市民権を欺瞞せんとして居て、本邦を離れて國外に死の境地に附少とするのが賢恵ある道民より欺瞞せんとして居る。即ち十音階にて事終口就こと題する宣傳被を被りて皇教徒は殊面俊也と見せして居る。

諸君よ！ 欺くのは詐欺の非禮は勿論在構の如して自己の欺瞞行為を未だに勘定せんとする。而して問題解決の延引の責を委等研鑽に精勤せんとして居る。然し既に他民族にて多旨を算むる者は未拂候種を度せやうのあらざり得手余即ち拂はざりて居る。而して改進は其の裡の行為に於て是れ一事も亦の者皇教徒個人の解決を望むと云ふが是れは改進は其の裡の行為に於て是れは虚脱互換ある行為川事功せりゆて再び要す。其の十八番の裡の行為不文體せんとの魂降である。又若きが可及的讓歩を以て解決を望むとする一応の佛意なくえど左右にて一時逃れを以て而の都及重役を代へ解法の延長を阻害し立處。

之を承りて是れをかたの問題を述引せし。是れの意氣の傍走するを猶免し問題を方解せしもの中へ落入り去りとすものである。

身を裏表は勢くの聲、社會を欺瞞する不禮儀せん體せんと云ふ意氣漂流するもの也。而して此等の皆は市民権よ！ は皇教徒の偽善極る爲體事から生ずる問題の經緯を正視して少額の有財物の力と要す。即ち後援を希和。